

1・春日学区の変遷

【市政参加への歩み】

1871年（明治4年）以前	備後の国福山藩が統治
1871年（明治4年）8月29日	廃藩置県制により福山藩が福山県となる
10月26日	10県（※1）を統合し、深津県となる
1872年（明治5年）6月7日	深津県を「小田県」と改名する
1875年（明治8年）12月10日	小田県を廃止し、岡山県に合併する
1876年（明治9年）4月18日	備後地方の8郡（※2）を分離し「深津郡」と命名
1877年（明治10年）6月19日	深津郡は近郊の10村（※3）と合併
1889年（明治22年）4月1日	能島、宇山、吉田、浦上の4村合併し「春日村」と命名
1898年（明治31年）10月1日	深津郡と安那郡が合併し「深安郡」と命名
1956年（昭和31年）5月1日	春日村、大津野村、坪生村を合併し「深安町」と命名
1962年（昭和37年）1月1日	深安町が福山市へ合併

※1 10県：福山、生坂、浅尾、成羽、高梁、庭瀬、足守、岡田、鴨方、倉敷

※2 8郡：神石、品治、芦田、沼隈、深津、安那、御調、甲奴

※3 10村：宇山、浦上、吉田、能島、坪生、引野、市村、大門、津之下、野々浜

【町内会（現：自治会）の誕生】

1962年（昭和37年）1月1日、深安町として福山市へ編入。その後、深安町から大門町に変更・改名され、1965年（昭和40年）1月1日に3町（大門町、坪生町、春日町）に分離され「春日町」として独立した。

当時の春日町は、能島、宇山、吉田、浦上に分割されて、地域としての活動が行われていたようである。

浦上地区では、東、鍛冶屋、西、平松に分割され、連絡会的な組織が結成され、各地区に連絡員を置いた。

1965年（昭和40年）10月25日に春日学区町内会連合会が発足し、能島、宇山、東、鍛冶屋、西、平松、（吉田）が参加。

1966年（昭和41年）に培遠団地町内会（現：自治会）が連合会に参加。

福山東部地区は、日本鋼管福山製鉄所（現：JFE福山）の進出・稼働に伴い、宅地造成が実施され、春日地区においては1968年（昭和43年）頃から、能島台、沖田、梱包、ハイツ、促進、青葉台一丁目、浦上団地等が対象地域として造成された。

1970年（昭和45年）1月に沖田団地町内会（現：自治会）が連合会に参加。
1974年（昭和49年）4月1日に浦上団地町内会（現：自治会）が連合会に参加。

1978年（昭和53年）4月1日に能島台町内会（現：自治会）と春日ハイツ町内会（現：自治会）が連合会に参加。

1981年（昭和56年）に日吉台学区設立に伴い、吉田は日吉台に移行。

1983年（昭和58年）頃に能島榎包自治会と能島促進自治会が連合会に参加。

1985年（昭和60年）4月14日に春日池自治会が連合会に参加。

1993年（平成5年）に青葉台一丁目自治会が連合会に参加。

現在、春日学区は15自治会（東・鍛冶屋・西・平松・能島・宇山・培遠・沖田・浦上団地・能島台・春日ハイツ・能島榎包・能島促進・春日池・青葉台一丁目）で構成され、協働のまちづくりに向け、地域活動、市政への参画に鋭意努力している。

※春日学区50周年記念誌「伝承」より

